

## 区労協通信100号に到達しました

### 5月1日 第97回メーデー中央集会

# 働くものの団結で生活と権利を守り、 平和と民主主義、中立の日本をめざそう

## メーデースローガン

大幅賃上げ！ 労基法解体反対！ 8時間働けば暮らせる社会を！ 社会保障の充実！ なくせ  
貧困・格差・差別！ ジェンダー平等！ 多民族・多文化共生社会実現！ 被災者支援！ 福島原  
発事故を忘れない！ 原発なくせ！ 反戦・反核！ 改憲反対！ 辺野古新基地建設阻止！



## 大雨の中、中央メーデーに8000人

第97回メーデーの中央集会が、5月1日、代々木公園で開かれました。あいにくの大雨の中、8000人が参加し、大幅賃上げで労働者の生活改善、労基法解体反対、消費税減税、軍拡・戦争ノ一、改憲反対、原発反対をアピールしました。

メーデー集会の冒頭、秋山全労連議長は、主催者挨拶で次のように述べました。

### ★秋山全労連議長の主催者挨拶

働く者の団結で要求を実現しよう！ 大幅賃上げ！ 軍拡よりも暮らし改善を！  
戦争ストップを！ 平和なくして、労働運動はない！

「(憲法 9 条の条文を読み上げて) 皆さん、これは、日本国憲法 9 条の条文です。この条文を持つ日本として、今も世界各地で続いている戦争を直ちに停止するよう求めようではありませんか。戦争は、何の罪もない市民を殺すだけでなく、武力攻撃によって人々に障害を負わせ、家族を失わせるなど、たくさんの市民に苦しみを負わせます。戦争は、絶対にはじめてはなりません。ロシアやイスラエル、アメリカなど、国際法及び国連憲章に違反して戦争をはじめた国に対し、直ちに止めるよう求めたいと思います。日本政府は、国際情勢が厳しいとして、軍事費を大幅に増やしています。その上さらに、殺傷能力のある武器輸出を解禁しました。今年度からは、軍事費を目的とする増税を行いました。すでに、軍事費のための赤字国債発行も行われています。日本政府は、戦争への道を歩んでいます。絶対に認めるわけにはいきません。台湾危機、東アジアで戦争がはじまりかねないとの危機感が高められ、軍事予算の増大もやむを得ないものとして国民世論が誘導されているのではないのでしょうか。軍拡よりも国民の命と暮らしに使う財政に転換するよう強く訴えていこうではありませんか。戦争は絶対に起こしてはなりません。そして、核兵器が使用されることが絶対にあってはなりません。日本は、唯一の被爆国です。被爆国の政府は、核兵器禁止条約に参加すべきです。改めて、日本政府に対し核兵器禁止条約の批准を求めて行こうではありませんか。

平和なくして、労働運動なしです。労働組合運動の先人たちは、戦争体験を繰り返したくないとして、教え子を再び戦場に送らない、二度と召集令状、赤紙を配らない、再び戦争の奉仕者にならない、再び戦場の血で白衣を汚さないなど多くのスローガンが多く労働組合に伝えられています。スローガンが守り続けられるよう、平和のための努力を続けようではありませんか。

さて、コロナ禍以降、経済情勢の変化によって、物価高が進行し、私たちの暮らしが、脅かされています。その大きな要因となったのは、円安による輸入物価の高騰です。日本は、資源の大部分を輸入に頼っています。食料の自給率は、カロリーベースで 38%にすぎず、食料品を輸入に頼っています。そのため、円安は、物価を直接的に上昇させます。なぜ、円安は進んだのでしょうか。政府がアベノミクスによる金融緩和と財政赤字を増大させてきたからだと思います。日銀は、物価上昇のインフレ対策として、金利を引き上げるようになっています。金利の引き上げは、利払いで財政悪化を一段と進めます。物価高で消費税の税収は増すかもしれませんが、消費者の収入が増えなければ、税収は増えません。財政の健全化がなければ、さらに円安は進行します。

アメリカとイスラエルのイラン攻撃、ホルムズ海峡の封鎖は、原油の確保に先行き不安が高まっています。もはや生活そのものが破綻する恐れがあるのではないのでしょうか。何よりも、労働者の懐を温める賃金上げが必要です。労働組合の奮闘で賃上げを実現していますが、まだまだ不十分です。年金支給額や生活保護も引き上げなければなりません。更なる賃上げと経済政策の転換、税による再分配機能強化を実現しようではありませんか。

労基法解体反対！ 8 時間働けば暮らせる社会を！ 社会保障の充実！ なくせ貧困・格差・差別！ ジェンダー平等！ 多民族・多文化共生社会実現！ 被災者支援！ 福島原発事故を忘れない！ 原発なくせ！ 反戦・反核！ 改憲反対！ 辺野古新基地建設阻止！ と言う共通スローガンにある要求だけでなく、すべての働く者が安心して働き続けられるよう、諸要求の前進めざして、世界の労働者と連帯しようではありませんか。

団結、第 97 回メーデー万歳！」

#### ★関口全労協事務局長の来賓挨拶

**ノーWAR！ノーヘイト！ 大幅賃上げ！ 労基法解体反対！**

全労協の関口事務局長が連帯挨拶しました。

「高市政権は、日本が戦争できる国にしようとしています。ほとんど議論なしに、殺傷能力のある武器の輸出を解禁しました。人の命を奪う兵器を売って、利益を得ようとしています。こんな政権は、まっぴらご免です。『地獄は人々が苦しんでいるところではない、人の苦しんでいるところを誰も見ようとしなくていいところだ』これは、イスラムの思想家の言葉です。ガザで繰り返されているジェノサイドでパレスチナの人々が孤立しています。その一方で、イスラエルは、米国と共に、イランへの軍事攻撃を繰り返しています。その攻撃に正当性はありません。恐ろしいのは、残虐な行為ではなく、残虐な行為に慣れてしまっていることです。パレスチナやイランで繰り返されている現実に目を背けてはなりません。トランプもネタニヤフも直ちに攻撃を止め、罪を償えと強く訴えたいと思います。

高市首相は、同盟国アメリカにひたすら追従し、トランプの機嫌を損ねない外交を繰り返しています。これほどまでに媚びを売る日本の首相は見たことがありません。世界を見渡してもいないのではないのでしょうか。アメリカでも、ノーWAR! の行動が拡大しています。高市首相は、いつまで、沈黙を続けるのでしょうか。

アメリカ軍は、沖縄を含めた日本の基地からペルシャ湾に軍隊を派遣しています。日本がイラン攻撃を容認しているとみられても仕方がないでしょう。このことに対し、日本政府に抗議をしなければなりません。ノーWAR! の声を、アメリカ、イスラエル、高市政権に突き付けていきましょう。

今、労基法が壊されようとしています。高市首相は、労働時間の規制緩和、裁量労働制の対象拡大に向けてスピードを上げて議論しています。定額働かせ放題に向けた法改正、労働基準監督署の取り締まり行政の変質も狙っています。働き方改革法施行7年を振り返り、労働環境、労働時間について、企業側の検証が必要で

裁量労働制の拡大は、ただ働きの拡大です。労働法制の改悪を許さず、声を上げていきましょう。

高市政権は、外国労働者に対して、管理・監督を強めています。外国人へのヘイトも助長しています。抗議の声を上げていきましょう。入管法の改正は、手続きの額を大幅に引き上げる内容です。人権を蔑ろにするものです。ヘイトに未来はありません。多民族・多文化共生社会の実現をめざしていきましょう。

ノーWAR! ノーヘイト!

来賓として、日本共産党の田村智子委員長が次のように、連帯挨拶しました。

#### ★田村日本共産党委員長の連帯挨拶

**戦争反対！ 政治の責任で大幅賃上げを！ 消費税減税を勝ち取ろう！**

**日米同盟絶対の政治の転換を！**

「皆さんと共に戦争反対の声を上げたいと思います。世界は今、力による支配、無謀な戦争を許すのか、それとも国連憲章、国際法に基づく平和の国際秩序を確立するのか、重大な岐路にあります。全労連が47か国の労働組合が加わる反ファシスト労組国際ネットワークに参加し、昨年8月の原水爆禁止世界大会での初の労働組合による国際会議を開催されたこと、今行われているNPT会議に代表を派遣して、平和と核兵器廃絶をめざす国際連帯に積極的に貢献されていることに心から敬意を表します。このNPT会議では、非同盟運動を代表して、ウガンダが、新アジェンダ連合を代表してメキシコが、アセアンを代表してフィリピンが、核兵器禁止条約提案国を代表して南アフリカが、アフリカグループを代表してナイジェリアが核保有国に対して核兵器廃絶に向けた具体的な行動を取ることを求めて発言を次々行っています。一つ一つの国の代表だけでなく、各国が平和の連合体となって被爆者をはじめとする市民社会と共に、核保有大国を包囲しているのです。世界は力による支配を振りかざす大国によって運命づけられはしない、私たちにこそ、核兵器のない平和な世界をつくる力があると確信をしています。被爆国である平和憲法を持つ日本、そして憲法の力がこれほど求められているときに、高市首相は、憲法9条への改憲発議への異常な意欲を示しています。集団

的自衛権の行使容認、長射程ミサイル配備とする大軍拡、武器輸出全面解禁など、既に憲法9条にはたくさんの穴があげられています。

しかし、自衛隊の海外派兵を許していません。アメリカにどんなに求められようとも、ホルムズ海峡に自衛隊を送ることはできません。この最後の縛りさえ、焼き捨てることは断じて許されません。連休明けの国会では、国家公務員、地方公務員を予備自衛官として駆り立てていこうとする法案が審議されようとしています。まさに私たちのいのちがかかった情勢となっています。

教え子を再び戦場に送るな、再び白衣を戦場の血で汚さない、二度と赤紙を配らない、戦争のためにペンを取らない、労働運動の原点には憲法があると多くの労働組合の皆さんからお聞きしてきました。無謀な戦争を繰り返し、世界から孤立するアメリカに付き従い、戦争国家の道を歩むことに断固として立ち向かっていこうではありませんか。

5月3日の憲法集会を力に「憲法を守れ」の国民多数派を結集しましょう。軍事要塞化の最前線に立たされている沖縄県、オール沖縄に連帯し、知事選に勝利していきましょう。

イラン戦争は、私たちの暮らしを直撃しています。一刻も早い戦争終結を求めるとともに大幅賃上げ、消費税減税を直ちに実現するときです。どんな不況のもとでも、大企業は、内部留保を増やし続け、株主還元を驚くほど増やしています。軍需産業で巨額の利益を上げ、三菱電機は、株主還元7割をめざし、大規模リストラを行っています。横暴な富の一極集中を正して、働く者が生み出した富を働く者たちの手に、大幅賃上げを直ちに、儲かっている大企業、富裕層に課税するタックスザリッチで、消費税減税を、国民的運動に広げようではありませんか。

高市政権は、国民要求との矛盾を深めています。働く女性たちが選択的夫婦別姓を切望しているのに、頑として実施しません。長時間労働の是正、労働時間の短縮は、労働者の命と健康のためにも、自分のための生活時間、自由な時間のためにも、ジェンダー平等を進める上でも不可欠だと証明されているにも関わらず、裁量労働制を拡大し、仕事が終わらなければ、生活が苦しいればもっと働けと求める、日本社会もまた一部の支配者、一握りの貪欲な資本家によって左右される社会ではありません。労働者の団結、働く者を搾取し抑圧する仕組みをあばき、たたかう、これこそが日本社会を変える力です。たたかう労働組合を大きく発展させていきましょう。

日本共産党も皆さんと共に、全力でたたかうことを申し上げ連帯の挨拶とします。

残念ながら、集会後のデモ行進は、悪天候のため、中止になりました。

**戦争即時停止！**  
**改憲反対！軍拡より**  
**平和な暮らしを！**



5万人が集まった5・3憲法集会

# 2026 憲法大集会

5月3日は憲法制定から79年目となる日でした。今年も有明防災公園で、快晴のもと、憲法集会が開かれました。参加者は、昨年より多く、5万人にもなりました。特に今年は、自分の思いを書いたのぼり、プラカードが目立ち、若い人が多く参加していました。

開会にあたって、**総がかり行動実行委員会の秋山さん**は、主催者挨拶で以下のように訴えました。



憲法を生かそう！ 守ろう！

## 改憲を許さず、戦争させないために、暴走する高市政権を倒そう！

「たくさんの人に参加していただいて、心から感謝を申し上げます。この集会のクラウドファンディングは、1158万円もの寄付をいただきました。感謝申し上げます。多くの寄付をいただいたことは、憲法の危機という政治状況を多くの方が感じているからではないでしょうか。

この集会を契機に、憲法を生かし、平和、いのち、暮らし、人権を守っていこうではありませんか。

イラン戦争をはじめとするすべての戦争を終わらせるよう強く求めたいと思います。

さて、今年度から防衛増税として、たばこ税の値上げなどが行われています。所得税は、1%が防衛費として、来年から徴収されます。実質的な増税とならないよう、東日本大震災の震災復興特別税を1%引き下げ、期間を10年間延長します。ごまかしです。軍事目的税は、戦後の財政政策において、二度と戦争をしない反省の上に立つ、禁じ手です。この禁じ手をすでに破っています。そ

ればかりか、武器輸出を全面解禁しました。直ちにもとに戻すよう求めて行こうではありませんか。

歴史は、繰り返すと言われますが、日本政府が第二次世界大戦で犯した過ちを再び犯すのではないかと危惧をしています。同じ轍を踏ませてはなりません。だからこそ、一人ひとりが歴史を学び考え平和について、議論することが大切になっています。

改めて、国会で答弁する国会議員の皆さんには、まともな答弁を行うよう求めたいと思います。

そして、改憲を許さない市民運動が重要になっています。国会では、改憲派が多数を占めています。過去にも改憲が進められてきました。しかし、改憲を許さなかったのは、市民運動があったからです。今年で憲法が制定されて79年になりますが、草の根から、地域から、職場から、大きく声を上げていこうではありませんか。

改憲許さない、特に9条改憲を許さない1点で、一致する国会議員のみなさんとも連帯し、改憲を阻止していこうではありませんか。これが、必ず戦争させないことにつながります。日本が戦争に巻き込まれないためにも、平和外交の基礎となる憲法9条を守っていこうではありませんか。

みなさん、こんな日本社会、変えたいと思いませんか。ジェンダー平等とほど遠い高市政権を打倒する他

ありません。そして、自民党政治を終わらせようではありませんか。

改憲を許さず、戦争させないために、皆さんと共に奮闘していく決意を申し上げます。」

### 吉岡 忍さん（ノンフィクション作家）のスピーチ

#### 日本国憲法を基盤に、戦争する国づくりに反対していきましょう！

「スパイ防止法など、様々な危険な法案が準備されています。それが、日本国を強大化するテコになっています。強大化する強い国はどこに行きつくのか。これは、戦争する国、できる国です。戦前の日本がそうでした。強い国というのは、実は弱かったのではないか。どの強い国でも外国人の排斥が起きています。こういう国は、自分たちの内部を純粋化し、一体化を強めていこうとします。しかし、結局のところ敗れていきました。

広島のことを考えてみますと、14万人の犠牲者が出ました。その時、12人のアメリカ人捕虜が死んでいます。このことについて、アメリカ政府も、日本政府もふれてきませんでした。なぜか、自国民を殺したと言うことは、政治的責任を問われます。ですから、アメリカ政府は、70年間にわたって、この事実を伏せてきました。この事実を発掘したのは、被爆者でした。今を考えてみますと、日本にもたくさんの外国人がいます。こうした現実を見ますと、相手方から攻撃を受けない安全保障になっているのではないか。

国家から自分を切り離す足場はどこにあるのか。それは、日本国憲法だと思います。日本国憲法は、社会を動かすために、大きな足場を与えていると思います。様々な私たちを惑わす情報が飛び交っていますが、そういったものに左右されない、そういう幅の広い知識、スケールの大きい知識を、日本国憲法を基盤にして今作り上げていくことが必要ではないか。皆さんと共につくりあげていきたいと思います。」

### 仁藤 夢乃さん（コラボ代表）のスピーチ

#### 憲法に掲げる理念を実現していきましょう。戦争させない社会を共に作っていきましょう！

「私は、虐待や性搾取の中にいる少女たちを支える活動をしています。戦争が起こるとき、最も手軽に支配の手段として使われるのは、性暴力です。日本は、戦時中、アジア各地や沖縄で女性たちを慰安婦として性奴隷にしました。戦後も女性の体を防波堤として利用し、それが現代の合法化された性売買につながっています。戦争と性搾取は表裏一体です。人の体を支配し、消費するものです。今でも日本では、性売買は、社会の問題ではなく、個人の責任として扱われています。売る側だけが責められ、買う側の責任は見えなくさせられています。なぜ、戦争で性暴力が起きるのか。人を尊厳のある一人として扱わない社会が作られるからです。女や子供は、支配していい対象として扱われるからです。それは、戦争によって、突然始まるものではありません。

今の行き場を失った少女たちに声をかけるのは、性搾取を目的とした人や業者ばかりです。私たちは15年間、それにあらがう活動をしてきました。そのため、殺害予告やレイプ予告など、あらゆる妨害を受け続けています。女性に対する暴力は、今も支配の手段として使われています。私たちが攻撃されるのは、いつも権力者たちに不都合な真実を語る時です。2022年に女性支援法が成立して、直後から最も攻撃がひどくなり、政党を超えた複数の議員が加担しました。行政は、攻撃に屈し、支援から手を引きました。少女たちを危険のさなかに置き去りにしたのです。これは、戦前、女性たちの運動が弾圧されたことと重なるものです。国家が戦争に近づくと、真っ先にないがしろにされるのは、女性と子供の人権だからです。人権保障の声を上げる人が攻撃され、孤立化され、市民の連帯が奪われる、このことにあらがうつながりを私たちの手で作っていかねばなりません。

問題は、政治だけではありません。私たちが攻撃を受けたとき、これが差別の問題だと気づけた人はごく

わずかです。ターゲットが女性だったからです。そのことが排外主義を広げようとする人たちに力を与えました。女性への攻撃で成果を上げた議員が今、外国人差別を先導しています。運動の中でも女性の人権、特に性搾取の問題は後回しにされてきました。その中で傷つき声を上げられなかった女性たちが、今日、ここにもたくさんいることでしょう。無意識のうちに、それを支えてきた人もいるでしょう。この行動を変えるためにも、私たち自身がそのことに気づき、変わる必要があります。反省することは、恥ずかしいことではありません。社会を変える力になります。私たちは、これまでの言動を顧みる勇気を持つべきではないでしょうか。

コラボが、様々な妨害をあげせられながら学んだのは、拠点が借り物であるといつでもつぶしに来れると言うことでした。そこで、私たちは、女性人権センター建設プロジェクトを立ち上げました。日本一性搾取が深刻な町、新宿歌舞伎町に差別と暴力にあらがう拠点を市民の手で作ろうと呼びかけています。ご協力願います。人権のために声を上げる人たちが苦しい状況に追いやられた人たちが、孤立せず、支え合い、声を上げ続けることができる場所を私たちの手で作りたいのです。その一人に、あなたにもなってほしい。

デモをあざわらい、様々な手で集会の自由を奪おうとする権力者たちがいます。彼らは、私たちが集まり、護憲やたたかう思いを確認し合うことをいやがっています。私たちが一人ひとりに力があることを恐れているのです。私たちはやるべきことは明白です。これからもつながり、私たちがここにいることを示し続けようではありませんか。私たちは一人ではありません。世代を超えてつながり、新たなうねりを作っていきます。自分の言葉で語り続けましょう。憲法の掲げる理念を実現するのは私たち一人ひとりです。おかしいことにはノーと言い続けましょう。戦争させない社会を共に作っていきましょう。」

集会には立憲民主党、日本共産党、れいわ新撰組、社会民主党、沖縄の風などの代表者が参加し、連帯を表明しました。

集会後、二つのコースでデモ行進を行いました。私たちは、東京地評と共に、お台場コースで、モノレールの青海駅を越したところまでの約2キロをコールしながら歩きました。途中、沿道で右翼が罵声で叫んで

## 26. 5. 3憲法集会スローガン

私たちは

○改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和・いのち・くらし・人権を守ります。

○世界の平和を脅かすロシアやアメリカ、イスラエルによる他国への武力攻撃を許さず、日本政府に憲法 9 条をいかした平和外交を求めます。

○東北アジアの平和を求め、ミャンマーや朝鮮半島の安定と平和を求めます。

○「台湾有事」の扇動による基地機能強化、日米軍事一体化を許さず、敵基地攻撃能力の保有やミサイル基地配備の撤回を求めます。

○平和主義をつらぬき、核兵器のない世界をめざします。

○辺野古新基地建設に反対し、米兵による性暴力を許さず、日米地位協定の抜本的改定を求めます。

○原発推進政策による原発再稼働・新增設を許さず、再生可能エネルギーへの転換を求めます。

○ジェンタ平等の実現、選択的夫婦別姓の法制化を求めるとともに、外人差別排斥を許さず、日本政府が進めようとする「スパイ防止法」等に反対し、すべての個人の尊厳を大切にする社会をめざします。

これらの実現のため、共同の輪をひろげ、金権腐敗政治の自民党中心の政治構造の転換をめざし、だれもが安心してらせる社会を希求します。

いました。(編集：千代田区労協事務局長 小林秀治)

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

\* 千代田区労協通信バックナンバー / [http://www.chyda-kr.org/kuroukyou\\_news2023.htm](http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm)

## 第1回 2026年5月29日(金)

**【講義A】岡村稔さん** **なぜ教育にける予算が少ないのか？**  
 (日本学生支援機構労働組合書記長) **～奨学金の変遷と教育無償化の行方～**

**【講義B】野中郁江さん** **なぜ大学の学費は高いのか？**  
 (明治大学名誉教授) **～国家予算と私学助成～**



文教科学予算をはるかに超える軍事予算で大軍拡を進める高市政権。一方で、学費は値上がりし、奨学金の返済利子が高騰するなど、学生や保護者から悲鳴の声が上がっています。なぜ文教科学予算が置き去りにされるのか？大学の学費が高いのはなぜか？奨学金の変遷と本来あるべき姿について学び考えましょう。



### 【タイムテーブル】

18:30～開校あいさつ 19:15～【講義B】  
 18:35～よもやま話 20:00～質疑応答・感想  
 18:55～【講義A】 20:30～交流会

千代田区春闘共闘委員会主催・東京労働者学習協会協賛

# 千代田区春闘共闘 労働学校

時間：18時30分開始 参加費：無料

場所：千代田区労協事務所

【参加申し込み先】千代田区労協 及び 千代田区労連

〒101-0061 千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル2階

Tel:03-3264-2905 Fax:03-6272-5263

Mail:chiyodakurokyo@gmail.com/chiyororen@yahoo.co.jp

## 第2回 2026年6月26日(金)

**魅力的な労働組合活動に向けて**  
**～新しい組合のつくり方、5つのレシピ～**

全厚生本省支部での組織拡大の事例や全司法でのファーストアタック、セカンドアプローチの取り組みを紹介。国公労連内で進む労働組合の“新しいつくりかた”について「対話と学びあい」を通じ一緒に考えましょう。

### 【タイムテーブル】

18:30～開校あいさつ 20:00～休憩  
 18:35～労働組合よもやま話 20:10～質問  
 19:00～講義 20:30～交流会



**講師：大門晋平さん**  
 (国公労連中央執行委員)